

141
No

2007.4.1

青山クワリエ

〒150-8366 渋谷区渋谷4-4-25 Tel.03-3409-8111
発行:青山学院女子短期大学 http://www.luce.aoyama.ac.jp
AOYAMA GAKUIN WOMEN'S JUNIOR COLLEGE

クワリエは(Courrier)はフランス語で「使者」、「定期便」を意味し、英語ではCourierと綴ります。本学の広報誌として、4月、7月、12月、3月の年4回発行されています。青山クワリエは本学のホームページ(リンク集)からもご覧いただけます。

CONTENTS

Front-Page Message
巻頭言「この浮き足立った世の中で、あくまで基本を大切に」中井章子・・・1

Courier Special Interview
新年度特集——深町正信院長×前之園幸一郎学長特別対談・・・2・3

Courier-Outlook
私の学生時代(小林正明)・新任の先生・・・4
専攻科はいま(芸術専攻)・・・5

Campus Calendar
キャンパス・カレンダー——学生生活の1年間を写真で紹介・・・6・7

Campus News
学生部の案内——学生部長・学友会ほか・・・8
キリスト教活動の案内・私の好きな聖書の言葉・・・9
図書館利用案内・学生相談室・保健室・・・10

Bulletin Board
進路特集——就職・編入について・・・11
就職ガイダンス等の案内・ギャラリー展覧会ほか・・・12

巻頭言

この浮き足立った世の中で、あくまでも基本を大切に

なかい あやこ
図書館長 中井 章子

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。共に学ぶ仲間をあらたに迎えることができ、とてもうれしいです。また、青山ですでに学生生活をおくり、卒業後のことなども視野に入れながら、新年度に足を踏み入れた2年生や専攻科生のみなさん、過ぎ去った一年やこれからの一年を展望し、どのようなことを考えていますか？

近頃とくに、世の中も、個々人も、忙しくなっているような気がします。もともと、自然はゆったりと移ろい、人間の文明や文化は、加速度的に変化するものでしたが、近年では、自然すらも、激しく、突如として変貌するような印象を受けます。豪雪が二年つづいたと思ったら、この冬は、驚くほどの暖冬でした。環境問題に表れているように、自然に対して人間の活動が影響し、自然のリズムが崩れてしまっているのでしょうか。

携帯電話に代表されるような機器はどんどん変わり、すぐに古くなってしまいます。日々の暮らしも、三十年前とはかなり違ってきています。たとえば食生活。スーパーにならぶ食材はグローバル化し、自分で料理せず「デバ地下」や「コンビニ」で買って食べる機会も増えています。



教育の場も忙しい実験の場となっています。みなさんが小学校から高等学校まで学んでいた間でも、ゆとり教育が良いとか悪いとか、揺

れ動いています。大学もそのような動揺と不安の中にあることは、よく知られたことでしょう。

このように世の中が浮き足立っているからこそ、私たちは落ち着いて学びたいと思います。時代の変化を感じ取ることは、大事なことです。それは、ただ変化に流されるのではなく、その変化の理を知り、その中でみずからの道を選び、世の変化に創造的に影響を与えていく、第一歩になるべきです。

女性の生き方も、大きく変容しています。国や社会のあり方によって、「良妻賢母」や「労働力としてのキャリア・ウーマン」など、外から押し付けられる女性像はいろいろです。社会を知り、自分を知り、歴史を学び、現代を感じ、賢くなる必要を感じているのは、とくに若いみなさんでしょう。

世界に目を向けると、「もったいない」という日本語に光をあててくれたノーベル平和賞受賞者や、4人の子持ちの大統領候補など、のびのび活躍している頼もしい女性がどんどん出てきています。基礎的な実力をつけていたところに、チャンスがめぐってきたのでしょうか。

『クワリエ』今号においても前之園学長が言及されているラテン語の「フェスティナー・レンテ(ゆっくり急げ)」をモットーとする「エンブレム」(象徴的な図像)があります。亀が背中に帆を立てている図です。時代の風を受けながらも、おのおの自分らしくしっかりと歩む一年になるよう願っています。(教養学科教授)



新年度特集

深町院長 × 前之園学長 特別対談 「青山学院の使命 青山学院女子短期大学の教育」

学生時代は人生の土台作りの時です。

新年度にあたり、深町正信青山学院院长、前之園幸一郎学長のお二人に、青山学院が目指すもの、本学の教育、今日の社会問題、学生へのメッセージなどについて語っていただきました。（聞き手／奥井正司）

新年度への思い

—新年度を迎えます。深町院長の新たな思いをお聞かせください。

深町 ご承知のとおり私学を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。青山学院ではアカデミック・グランドデザインについて検討を重ね、この度「21世紀の青山学院—Recreation and Transformation—伝統の中での新生、青山学院の新たな出発～」を公表しました*。この具現化のために「青山学院は一つ」の基本理解に立ち、全学的に取り組んでいきます。今日は大学の入学から卒業までのプロセス、日々の教育の中身や質が問われる時代です。青山学院の教育のさらなる充実と発展を目指したい。

—前之園学長は学長として4年任期の最後の1年です。

前之園 いよいよ最後の1年となりました。私は今二つのことを考えています。その一つは教育学と教育の歴史を学んできた者として、今や現在の大学は中世大学の誕生時の理念に戻るべきではないかということです。今日の大学を意味するユニバーシティという言葉は、中世大学のウニヴェルシタースを語源としています。このラテン語は「勉強する人々の集団」という意味で用いられていました。世界最古のポロニヤ大学では「ウニヴェルシタース・ウェストラ」'Universitas vestra' (あなたがた一同)という呼びかけの言葉が日常的に使われたといわれています。大学が教師・学生・職員の主体的参加と一体感のもとに成り立っていたからです。この呼びかけは、現在の私たちにも大きな示唆を与えてくれるように思います。それは、学生を含めた大学構成員全員の積極的な創意工夫によって相互に学びあう、より豊かな空間を創造していくことだと考えます。もう一つは激動する今日の社会環境の中で、未来を見すえた本学の改組改革の方向性と将来像を確定する問題です。

青山学院の使命

—私学の個性・特色が求められる昨今です。青山学院、青山学院女子短期大学の個性・特色はどんな点にあるとお考えですか。

深町 青山学院は教育研究機関として、キリスト教学校として、どうあるべきか、何をすべきかと2つの物差しで考えなければなりません。教育基本法の改正が話題になっていますが、その第1条にわが国の教育の目的は「人格の完成」を目指すところにあると記されています。青山学院の教育の使命は、この人格の完成を目指すところにあります。戦後、教育基本法が制定されるに当たり、田中耕太郎・南原繁・河井道などの先達が、これから日本は、正しい人格を形成し、他の人格を尊び大

事にする、そういう人間を育成しなければならないと考えました。この精神を根源的に生かすことが、われわれキリスト教学校に委ねられた使命です。総合学園である青山学院では、幼稚園から大学院までキリスト教信仰に基づいた教育が実践され、日々の礼拝が生き生きと捧げられなければなりません。そうでなければ青山学院の教育の特色はあり得えないと思います。

—新渡戸稲造は1913年に青山学院で『人間に到る処に青山あり』の題で講演し、「わが国の教育の最大欠点は個人の人格を無視することである。官立学校の教育はことにそうである」「われらは人格のある処そこに青山のあることを忘れてはならぬ」と述べていますね。深町 まさに新渡戸先生が述べられた人格形成です。人は聖書が語る創造者としての神との関わりによって、新しくされ、人格が形成されていきます。自ら的人格が形成されて初めて、人は'responsibility'（責任）ある生き方ができると思うのです。

人間教育こそ本学の使命

前之園 私は昨今の大学に対する社会の期待・関心や評価が、就職率など余りに身近な問題に向けられ過ぎているのではないかと危惧をいただいています。大学とは本来人格形成の場であり、本学は伝統的に円満で教養ある人間を社会に送り出してきました。現在も、学生一人ひとりに応じる教育、アドバイザーやクラス担任を通じた学生の個別的相談、多様な課外活動プログラムの実践などを通じての個性的人間教育が本学の教育の根底におかれています。50年前の私どもの学生時代は大学進学者の数はまだ少なかったにもかかわらず、大学生たちはキャンパスの中で常に「群衆の



中の孤独' (D. リースマン)を感じていました。特別のことでなければ学生が教授に声を掛けられるなどということは考えられなかったからです。聖書に「主を畏れることは知恵の初め' 'initium sapientiae timor Domini.' (箴言1:7)と記されています。その意味を私は、抽象的な知識や専門知識にとどまらず、人間を超えた存在に対して畏敬の念を抱く知恵(sapientia)を獲得することが人間教育の基本である、と理解しています。本学の使命も、キリスト教信仰に基づく人間教育にあると思います。

海図のない時代に

—新卒者にも即戦力を求める今日、学生は日々どう過ごしたらいいか迷うと思います。学生に意識してほしいことをお話しください。

深町 21世紀は海図のない時代、モデルのない時代と言われます。私は自らをコントロールできる人、責任ある行動をとれる人が求められると思います。今はフリーターやニ-

トになる人が多いと聞きます。生きる意味が分からない、働く目標が持てないという人も多く、大学に入っても最初からそう思い込んでしまう学生がいます。青山学院に入った学生には、人間とは、人生の目的とは何かということを実際に考えてほしい。そうでなければ、わざわざ青山学院を選んだ理由はないとさえ思います。今日はどの大学を出たかより、一人の人間としてきちんと考え判断できる人、リーダーシップをとれる人が求められています。本当の人間らしさ、本当の人生、そして将来を前向きに考える学生生活を送ってほしいですね。

急がば回れ

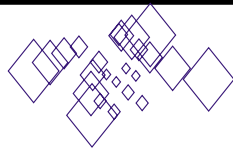
—前之園学長は本学を卒業する学生に古代ローマの格言を贈っていましたね。

前之園 今日の日本の社会では結果を早く出すことが求められます。数年前の在外研究の折に、私はイタリア人をじっくり観察する機会に恵まれました。そして、彼らがわれわれには真似のできない一つの特質を持っていることに気づきました。それが「フェスティナ・レンテ' 'festina lente' (急がば回れ)です。私の印象ではイタリア人は子どもから大人まで哲学する庶民に思われました。みんなが自分の意見を持っているからです。彼らは人の話に批判的に耳を傾ける力と、自分の意見を明確に述べる技に秀でているように思われました。日本人と違ってあまり本も読まない国民ですが、人の話に耳を傾け自分の経験に照らして、自己主張はするのです。どれだけ深く知っているかということよりも、どれだけ深く自主的に考えているかを大切にす文化がイタリアの特質だと納得がいきました。これはフェスティナ・レンテの生活態度から生まれたものだと考えられます。今日の日本はマニュアル社会だと言われていす。しかし、企業の面接試験において「私はこう考えます」と自分の考えを説得的に秩序立てて述べることでできる人物が評価されるのではないのでしょうか。

学生への期待

—モノや情報が溢れ、およそ2人に1人が大学に進学する今日、学ぶ目的や人生の意味を見出すのは困難になっていると思いますが、学生にはどのようなことを期待しますか。

深町 学生には具体的な目標を持ってほしい。目標を持って学問すれば学生生活が楽しくなり、そこから色々なことが見えてきますし、人間関係も広がると思います。勉強する中で疑問点が出てきたら、先生にアタックする情熱を持ってほしい。学生が一步近づけば先生は三步でも五歩でも近づいてくれます。知らないことを知った時の喜び、そういう知的な喜びをもっと知ってほしいし、そのためにはしっかりとした本を一冊でも深く読んでほしい。私が学生に薦めるのは森有正の『自由と責任』という本です。その一冊をきちんと読めば、一人の大人としての自由と責任について分かると思いますし、書物のほうから何か語りかけてくるはずですよ。



わたしの学生時代 第6回



二十にして心すでに朽ちたり

国文学科教授 小林 正明

自分の履歴に関して、あまり語りたくないことが、いくつかある。そのひとつを、アナタにだけ、この際そっと打ち明けることにした。片端なりとも。「昔男ありけり」……と、そんなふうな。

20歳だった。それが人生の中で一番うつくしい季節だなどとは誰にも言わせない。 ——ポール・ニザン

長安に男兒有り、二十にして心已に朽ちたり ——李賀

思えば、それなりに、疾風怒濤の時代だった。

1950年生れの私が東京外国語大学英米語科に入学したのは、1969年4月のことだった。大学はまさに学生叛乱の騒擾と当局の反動的な締付で荒んでいた。同年1月18日・19日、東京大学の安田講堂で、占拠学生と機動隊との攻防戦があった。事態の応急措置として、東大当局は入試中止を決定。廃墟と化した冬の安田講堂は、否定的なるものを隈取る、世界の陰画に他ならなかった。

「造叛有理」。1960年代後半、若者の叛乱という赤い炎が、文化大革命の上海から、世界各地に飛び火していた。パリのラテン区、ニューヨークのコロンビア大学、カリフォルニア大学バークレー校……。



22歳の頃

戦地ベトナムでは、日々、無辜の血が流され続けていた。

叛乱の祝祭に遅参した私には、3つの選択肢しかなかった。過激派に新参するか、教授たちに隷従するか、それとも……。闘う過激派は他派殺害を既に兆しつつあった。「優」に雀躍する

同級生たちには嘔気を覚えた。闘いの広場からも欺瞞の教室からも足が遠のき、遠のく足は第3の道を辿ることとなった。金も無かったが、働くほどの気力もなく、学籍だけ維持し続けた。

月に1・2度だけ大学に顔をだし、残りの生活時間はすべて惰眠と読書に費やした。

夢うつつの中で目を通した書物は、マルクス、トロツキー、フロイトそれぞれの主要著作、プラトン全集。日本語訳で手に入る限りのギリシャ・ラテン古典、中でもヘロドトスの『歴史』とオヴィディウスの『変身譜』は枕頭常備の安定剤であった。『源氏物語』、『史記』、カミュ、カフカ、三島由紀夫、吉本隆明……。あるいは、惰眠を驚破した、ドストエフスキー全集。スタヴィローギン、ムイシュキン、ラスコーニコフ、イヴァン・カラマーゾフ等々の作中人物は、孤独な魂の友人だった。俗物たちなど、眼中になかった。

だが、ついに身勝手な生活に懲罰が下った。就職活動は消耗戦だった。大学卒業後、証券会社で働いたが、本も読めない過重労働は命の縮小再生産に他ならない、と退職。2番目の職場にもまた嫌気がさして、行き場を失った私は、退行を余儀なくされた。卒業後3年近くたっていたが、2ヶ月ほど夜間に自習したのち、一般受験に臨み、春から東京大学文科III類に入学した。学府の廃墟を内部から批判的に検証するためと、それなりの自己再生を求めてのことであった。

そんなわけで、「魂」に古傷のある私は、世事にうとい直向きなアナタのことが、とても好きだ。たとえ「物語」にすぎないとしても……。



新任の先生

一般教育科目

准教授 田中 志帆(たなかしほ)

田中志帆先生は、4月から教職課程担当の准教授として教育心理学を担当されるほか、子ども学科の卒論指導なども担当されます。ご専門は臨床心理学で、摂食障害や動的学校画法の研究を続けてこられ、また臨床心理士としてさまざまなカウンセリングにもたずさわってこられました。そのフレッシュな感覚とエネルギーで、本学に新しい息吹をもたらしてください。



田中先生は大変お若い先生です。学生の皆さんには、勉学のこと、生活上のことなど、さまざまな相談に乗ってくださる頼もしいお姉さんになってくださることと思います。どうぞ遠慮なく、田中先生の研究室を訪ねてください。

(一般教育科目主任 清水 康幸)

英文学科

教授 池田 孝一(いけだ こういち)

池田孝一先生のご専門はアメリカ文学ですが、中でもとくにアメリカ人の精神の源泉であるベンジャミン・フランクリンや19世紀の作家たちです。東京大学文学部英文学科、同大学院と進まれ、慶應義塾大学、東京大学、シカゴ大学、和洋女子大学、東京工業大学とさまざまな場所で教鞭をお執りになりました。20年程前、「私の授業に出ないでAを取れる確率は今年阪神(当時低迷中)が優勝する確率よりも低いでしょう」とおっしゃり、新1年生だった私はいろいろな意味で衝撃を受け、襟を正して授業に取り組むことになりました。穏やかな語り口にユーモアをまじえながら、本学でも学生に大きな影響をお与えになるでしょう。犬と巨人軍をこよなく愛されるとっても素敵なお先生です。(英文学科専任講師 荒木 純子)



第3回 専攻科はいま

専攻科芸術専攻

芸術専攻について

芸術学科主任 橋本 典子

青山学院女子短期大学に芸術学科が創設されたのが1989年、そして第一期生の本科の卒業を待って1991年に専攻科が始まった。芸術学科は本科で理論と実技をバランスよく学ぶことを目標に、基幹科目としての「芸術人間学」を中心にして、理論の授業としては、美学、西洋美術史、日本美術史、芸術各論、美学・美術史演習等を行い、実習としては、絵画、彫刻、デザイン、織等を学ぶようになってきている。更に、個別芸術の諸ジャンル（建築、音楽、文学、演劇、映像等）との内的な関係や、芸術と宗教、思想、社会、自然等との相互関係を学び、芸術を広い基盤で理解するように組まれている。1年生では芸術を幅広く総合的に学び、2年生になって卒業研究で制作と論文のいずれかを選ぶことになっている。制作では、絵画、デザイン、織の中から1つの分野を選び、また論文では哲学、美学、芸術論或いは美術史の中から指導教員と相談しながら、具体的なテーマを決定していく。それらの成果は卒業展で発表の機会を得る。制作も論文も結果として2年生の1年間をかけることになり、初めてのそして芸術学科での2年間の総決算の作品となる。制作においてもまた論文においてもこれは終わりのない活動の初めとなる。

当然の結果として制作や論文作成の途中で新たな課題を見つけることとなる。専攻科に進学を希望する学生は、1) 卒業研究を更に展開させること、2) 卒業研究の中でやり残したこと、また多くの学生は芸術的なセンスを生かす仕事につくことを希望しており、



専攻科生と筆者

3) 社会へと繋ぐことの出来る芸術の基礎を学ぶこと、4) 自分自身のキャリアをどう作るか模索すること等を目指して専攻科に進む。またどのような分野に編入すべきなのか見つけようとする学生もいる。

専攻科に進んでから就職試験を受ける学生も多い。ただ就職試験は自己と社会との関わりを見つげようとするのであり、これに対して芸術制作や論文作成は自己の内部に目を向けることで、相反する方向性を持つので、これをうまくコントロールすることは難しい。しかし現代社会は常にこのような難しい問題を我々に課するのであるから専攻科でこの点を経験することは良いこととも言える。



芸術専攻は他大学からの専攻生を受け入れたこともある。また本科卒業後社会での経験をする中で明確になった課題を考えるために何年か後に入学した者もいる。従って専攻科の入学時に専攻科で学ぶ課題を自分で見つけていることが最低の条件である。1年間は短いので教員はそれぞれの課題に応じた時宜に適したアドバイスをしてきている。そして専攻科が本科と最も異なる点は参加型の授業になることであろう。そこでは自分の芸術観を自分の言葉で表現することを訓練する。

専攻科修了時には修了展を行い、1年間の成果を発表する。専攻科生は毎年ほぼ7人から8人で、本科では互いに余り知り合っていない学生同士が専攻科で新たな親しい関わりを持つことになる。一緒に展覧会へ行ったり食事会をしたり、時には危機に陥った友人をみんなで支えたりすることもある。専攻科修了時に本科とは違う人間関係が生まれることが多い。芸術専攻では2年生との交流もあり、毎年本科生と一緒に卒業パーティを行う。しかし本科生40人に対して専攻科は更に少人数でまとまっており、教員との交流の機会も多い。



2006年度修了生 浅間 好美

専攻科で学ぶ学生から

それぞれの道

2006年度修了生 越智 亜樹

私は専攻科芸術専攻で「絵画」を学びました。専攻科まで通う場合、2年生で専攻した同一の分野を選択するのが普通です。しかし私はあえて違うものを選択しました。「あえて」と書きましたが、実はこれも私の中では計画の一つでした。私は2年生の時に「織」を、専攻科では「絵画」を専攻しました。「織」と出会ったことも私の中では大きな出来事であり、成長でもありました。1年の後半では「もう少し『織』を学びたい」という気持ちが日々高まるばかりでした。結局、自分の原点は「絵画」であると思っていたので、「織」の要素をもう少し習得してからそれを「絵画」に繋げていきたいと思い、このような選択をしました。そしてどんなことも必ず自分の道につながっていくということがわかり、あえて遠回りすることも大切だと思いました。3年間を振り返って、私は芸術学科とは全員が自分の選択によってそれぞれの道を創り上げていける場所だと思います。

専攻科を振り返って

2006年度修了生 栗原 夏子

私は本科でも専攻した「美学」を専攻科でも学びました。私が専攻科に進もうと思った最大の理由は、2年間という短大の時間があまりにも短く感じたので、もっと自分を見つめながらゆっくり学ぶ環境にもう少し身を置きたいと思ったからです。専攻科の魅力は、ゆとりある時間だけではなくありません。本科と違い、一人の学生に対して先生の比率が高くなるので、より密な授業を受けることができます。その日、その時の要望により、授業内容がある程度変更可能になるので、より興味に即したフレキシブルな研究を進めることができました。専攻科では、良き仲間にも恵まれ、就職活動を通して自信をつけることもでき、本科とはひと味違う学生生活を満喫できました。

Campus Calendar 2007

入学式
 始業礼拝
 履修指導
 健康診断
 始業講演・前期授業開始
 選択科目履修登録
 グリーンパーティ

春期プレイデー
 宗教講演
 チャペルコンサート

水無月祭（シオン寮）
 芸術鑑賞教室（歌舞伎）

4 April

5 May

6 June



グリーンパーティ



春期プレイデー



水無月祭



ランチタイムコンサート



青山祭



クリスマス礼拝

10 October

ランチタイムコンサート

11 November

青山祭
 青山学院創立記念日（16日）
 英文学科スピーチコンテスト
 クリスマス・ツリー点火祭

12 December

秋期プレイデー
 クリスマス礼拝
 冬期休業

青山学院女子短期大学の1年間のおもな行事を写真で紹介します。
 学生のみなさんの積極的な参加を期待します。

前期定期試験
 夏期休業
 手話講習会（予定）

サマー・キャンプ・イン軽井沢
 清里ワークキャンプ（予定）

アジア学院ワークキャンプ（予定）
 後期授業開始
 後期選択科目履修登録

7 July

8 August

9 September



手話講習会



清里ワークキャンプ



アジア学院ワークキャンプ



冬期リトリート



沖縄ワークキャンプ



卒業式・修了式

1 January

後期定期試験
 冬期リトリート（天城冬の集い）

2 February

沖縄ワークキャンプ（予定）

3 March

芸術学科卒業・修了展
 卒業礼拝
 卒業式・修了式
 リーダーズキャンプ

学生部の案内

卒業のときのあなたの姿

学生部長 加納 孝代

学友会の案内

学友会長 吉田 知世

ご入学おめでとうございます。青山学院女子短大での生活は、子ども学科では3年ですが、他の学科では2年です。本学に入られた理由は、短い期間に集中して学ぶことができる、あるいは早く社会に出たいから、といろいろでしょう。ともかく2年ないし3年後には皆さんは卒業の時を迎えます。今から2年または3年前のあなたが今日までに過ごした時間を振り返ってみれば、それがどれほどの長さか、短さか、見当がつくでしょう。



そのとき、あなたは今の自分にどのくらいものを付け加えていたと思いますか。日本語の力、読み書きと会話ができるくらい外国語力、研究や職業生活に必要な最低限のパソコンの知識、日本史と世界史についてのおよその常識、芸術鑑賞を楽しめるための素養、頭を使って、また身体を使って自分の個性を表現できる手段、人の気持ちを理解できるような自分の人間的な度量などでしょうか。もっとたくさんあることでしょうか。

三段跳びをするときには、最後の着地点を意識して走り出せとコーチは言います。論文を書くときは、結論を意識して書き始めよと、私は指導教官に言われました。それにならって私も皆さんに、あなたの卒業式における素敵な姿をイメージして、学生生活を踏み出してください、と申し上げたいと思っています。「いくつかのことは着実に身につけました」と報告する、明るく、爽やかな、若々しい自信に溢れた皆さんに卒業式で会えますように。

(英文学科教授)

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。この春より皆様とお会いできることを心より嬉しく思います。



新入生の皆様におかれましては、目の前に広がる新しい世界に大きな期待と情熱、そしてわずかな不安を抱えていることと存じます。青山学院女子短期大学は、一生付き合っていける友人、様々な角度から支えてくださる先輩や先生など、今後の人生に大きな影響を与えてくださる方々と出会える場所です。また、これから過ごす2年間もしくは3年間は、皆様自身の将来と向き合わなければならない時でもあります。しかし、何よりも大切なことは限られた時間の中で貴女自身の学生生活を楽しむことです。

さて、私ども学友会では1年を通して様々な行事を企画して皆様のご参加をお待ちしております。皆様と青短ライフを盛り上げる日を楽しみにしております。

最後になりましたが、新入生の皆様、並びにご家族の皆様のご発展、ご活躍をお祈りし挨拶とさせていただきます。

(英文学科2年)

充実した学生生活のため、注意してほしい3つのこと

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

勉強だけでなく、サークル活動やアルバイトもしたい、友達の輪もひろげたい、やりたいことはたくさんあることでしょう。そんな皆さんの学生生活をサポートするのが「学生部」です。就職活動の相談、クラブ・委員会活動の支援、奨学金の手続き、アルバイトの紹介など、勉強以外の様々なことの相談や手続きを行っています。今回は「楽しく充実した学生生活」のために、心に留めてほしい3つのことをお知らせします。

ルールを守りましょう

高校に比べれば格段に自由な大学にも、学内の秩序と安全を守る「ルール」があります。周囲に迷惑をかける行為や自分の都合だけを考えた行動は、許されません。

配付された「学生生活の手引」をよく読み、自分の行動に責任を持ってください。

自己管理をきちんとしましょう

大学は学生の自主性を尊重するところ、即ち、うるさく世話を焼かないところです。学生情報端末や掲示板は自分でこまめに確認し、必要な手続きは責任をもって行ってください。また、氏名や携帯電話番号などの個人情報・貴重品の管理にも気をつけてください。

勧誘には注意しましょう

「〇〇大のサークルに入りませんか?」「簡単に月10万円稼げるバイト」「就職に有利な資格がとれます」など、クラブ、サークル、アルバイトや自己啓発セミナーをはじめとする様々な勧誘がされています。どれも「楽しそう」で「お得」な話です。でもちょっと待ってください。

安易にOKする前に・・・

- ・誰が(どこが)運営責任者か?
- ・どんな活動(仕事)の内容か?
- ・活動(勤務)中の怪我や事故の補償は?
- ・自分が負担する費用は?など、条件をまず確認しましょう。

中にはサークルを装ったカルト宗教、詐欺まがいの物品販売など、悪質なものもあります。「本当に信用できるのか?自分にとって必要か?」をよく考えてください。

少しでも不安なこと・困ったことがあったら、学生部の窓口へ相談に来てください。

キリスト教活動の案内

今年度のテーマ

「友であること、友となること」

今年度の聖句：友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。(ヨハネ15章13節)

イエスはわたしたちを「友」と呼ばれます(ヨハネ15:15)。このわたしたちのためにその命を捨てられました。そのイエスを仰ぎ見ながら、わたしたちは友となること、友であることを学べる一年であることを願っています。わたしたちの置かれている状況は決して安閑としてはありませんが、どのように考え、どのように学び、どのように実行してゆけるか、ともに支援体制を組みましょう。

「礼拝」って？

本学では、授業期間中、毎週(月・水・金)の12時30分～13時、短大礼拝堂(北校舎1階)で「礼拝」の時間をもっています。30分という短い時間なので、教会の礼拝とはスタイルも少し違います。学内の先生や、近隣・関係の深い教会の先生方が、お話しをしてくださり、勇気や力が与えられたり、新しい視点をもつことができたり、忙しい学生生活の中で、心穏やかな時を過ごせる機会です。一人でも、あるいは友達と誘い合わせて、是非参加してください。お一人お一人にとって、大切なひとときとなるでしょう。

- 礼拝は、神への公けの賛美、祈りです。きちんとした態度で臨みましょう。
- 讃美歌は、歌詞の意味を考えながら、はっきり歌いましょう。
- 聖書の朗読と奨励(説教)のつながりを考えながら思索しましょう。
- 礼拝堂では、私語を慎み、静かにしましょう。

私が好きな聖書の言葉

「太初に言あり、言は神と偕にあり、言は神なりき。」
(ヨハネ福音書一章1節)

国文学科教授 鹿倉 秀典

好きな『聖書』の箇所というと、文語訳のこの一節が、いつも思い浮かんでしまう。口語訳でも新共同訳でもなく、どうしても文語訳でなければならぬ。これに続いて「萬の物」、「生命」、「人の光」、さらに「言は肉體となりて我らの中に宿りたまへり」まで読むと、ヨハネの「證」が何方に對してなされたのが分かる。「言」に携わる仕事をしているせいだろうか、「ヨハネ福音書」冒頭部分には、惹かれてならない。

「世話役はぶどう酒に変わった水の味見をした。」
(ヨハネ2章9節)

教養学科准教授 西願 広望

カナという所でイエスは婚礼に招かれたのだが、ワインが足りなくなつたので、水をワインに変える奇跡をおこなった。僕はこの話が大好きだ。アツケラカンとしていて楽しくて、「イエスは飲びだ」と叫びたくなる(酔ってないよ)。ところで、このワイン、とても美味しかったらしい。僕も味見をしたかった。ぶどうの品種は何だったのだろうか？ 何年モノだったのだろうか？



宗教活動委員会メンバー

◆特別礼拝◆

- ◎宗教講演
5月23日(水)
12:30～13:20(3限短縮)
お話：坪井節子氏(弁護士)
- ◎創立記念礼拝
11月14日(水) 12:30～13:00
お話：山本与志春先生(中等部部长)
- ◎クリスマス礼拝
12月19日(水)
13:00～14:30(3限休講)

この他、英語礼拝や、子ども学科の教育実習前の特別礼拝、学生による礼拝などもあります。



2006年創立記念礼拝

〈学生活動〉

宗教活動センターに所属する4つの団体と2つのグループがあります。クリスチャンの学生も、短大に入って初めてキリスト教に触れた学生も、一緒に楽しく活動しています。興味のある方は、宗教活動センターか、短大食堂横のクラブ部室にいらしてください。練習時間(または活動日)と場所は、以下のとおりです。

- ◎宗教活動委員会
原則毎月1回(火)または(木) 昼休み
- ◎聖歌隊
(火)または(木) 昼休み、放課後1回
短大礼拝堂にて
- ◎ハンドベル・クワイア
(月)(金) 放課後 N104教室にて
- ◎ゴスペル・グループ
(火)または(木) 昼休み
N104教室にて
- ◎聖書研究会
(水) 午後、伊藤宗教主任研究室にて
- ◎English Bible Club コイノニア
(火) 12:10～13:00

図書館の案内

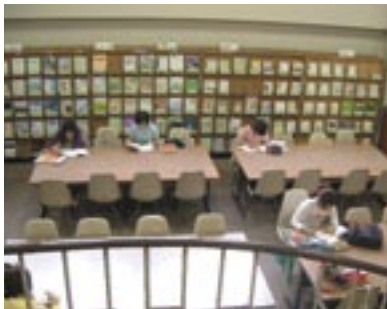
図書館も使おう

ーネットだけでは「世界」は分からないー

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。短大では、皆さんの学生生活を支援するために図書館を整備して、提供しています。

ところで、皆さんの多くは、グーグルやヤフーといった検索エンジン、あるいは百科事典であるウィキペディアといったインターネット上のサービスをよく利用していると思います。ネットで簡単に「何か」が見つけれられて、つつい安心してしまいがちです。

しかし、ネットにはいろいろな問題点があります。まずネットにある情報が信用できない点があげられます。掲示板やブログで根拠なく書き込んだことが「真実」として伝えられることも多々あります。あるいは、歴史の浅さも問題です。日本で最初にウェブサイト（ホームページ）が発信されたのは1992年です。それより前の事について調べようとしても見つからないものがたくさんあります。



さらに、探せる情報量の少なさも問題です。意外に思うかもしれませんが、全世界の情報をグーグルで検索可能にするには、300年かかるとグーグルのトップ自ら話したことがあります。あれだけ大量の情報を扱って

いるようでも、検索して見えてくる情報は世界に存在する全ての情報から見ると氷山の一角にすぎないのです。

これに対して、本は、世界の近現代と密接に結びついて発展してきました。その情報量はネットをはるかに上回り、今この瞬間も着々と増大しています。さらに、多くの人間が作成に携わり、情報の質を向上させているので、ネットの情報よりも信頼できます。

もちろん、ネットでしか分からないこと、ネットの方が便利なこともあります。しかし、ネット上の検索結果が全てであると勘違いするのは、間違いです。正しくは、「本（そしてそれが高度に整理されている図書館）も見るし、ネットも見る」ことなのです。

ネット上のちっぽけな情報だけで「わかったつもり」になるのではなく、さまざまな情報に目を向けて私たちの「世界」を知るように頑張ってください。短大では、皆さんがより「世界」を知る、そのお手伝いのために図書館に力を入れているのです。

もし図書館の使い方がよく分からないという方は年度初頭の図書館オリエンテーションに参加してみてください。あるいは職員の方々に積極的にお尋ねください。今よりもっと「世界」を知るために想像力をもって図書館を利用されることを願っています。
(司書課程・情報科学)



一般教育科目准教授 大谷 康晴

学生相談室の案内

出会いが人を豊かにする

ご入学、ご進級おめでとうございます！美しい春の陽光の中、みなさんは様々な出会いを経験していることでしょう。うれしい出会いもたくさんありますが、歓迎したくない出会いもありますよね。失意や傷つきをもたらす出会いには、マイナス面だけを感じがちですが、このような出会いに真摯に向き合うことで、人との絆を強めたり、心の深さや大きさを得られたりすることも多いものです。「一人で乗り越えられそうにない」と感じることに出会った時には、学生相談室を訪ねてください。私たちカウンセラーは、みなさんの様々な「困った！」のお手伝いをするためにスタンバイしています。「相談したいけれども迷っている」という人は“オープンスペース”を利用しながら相談するかどうかが決めることもできます。ちょっとゆったりしたい、という人もどうぞ。みなさんの学生生活が実り多いものになりますように。
(カウンセラー 浅野 ひとみ)



保健室の案内

「心と体の調和を図り積極的に短大生活を送る」ための支援の場の一つとして、保健室があります。昨年度は1日平均45名の利用者があり、休養・靴擦れ・月経痛がトップ3でした。体調が悪い・応急手当をして欲しい、健康や病院について情報が欲しい、測定（身長・体重・体脂肪・血圧・骨量など）をしたい、聞いてほしいことがある・・・そんな時は、保健室を利用してください。DVや性暴力被害、メンタルヘルスについても保健師が相談にのります。

校医の健康相談日 〈予約は保健室tel:3409-7099へ〉

月：精神科（要予約）12時～16時

火：内科 13時～17時

気候の変化に加え、新しい状況への適応・様々な選択が迫られるこの時期は、身体的にも精神的にも、不調が起きやすい時期です。①食事は主食・副食・副菜を、②その日のうちに就寝、③毎日30分以上歩く・運動する、④問題は一人で抱え込まない、これらのことを心がけて続けるだけでも、体調はずいぶん変わるはず。あなたの生活と健康の主人公はあなたです。

(保健師 深谷 いづみ)

進路特集

就職を目指す学生へ

2年生・専攻科生の皆さんは、いよいよ実際の就職試験に臨む時期になりました。4月10日に「第二回就職説明会」を行い、各企業の動向や学校推薦について説明します。また、企業で活躍する先輩や人事担当者による「就職相談会」も開催されますので、企業選びや就職活動の参考にしてください。公務員希望者には「公務員試験ガイダンス」も予定しています。就職に関してわからないこと、困ったことなどありましたら、就職係カウンターまで来てください。

1年生の皆さんは、新しい生活が始まったばかりですが、進路について具体的に考え始める時期がまもなくやってきます。そのため、まずは年度初頭に卒業後の進路について考えるための「講演会」を予定していますので、是非参加してください。それを踏まえ、学生生活においては、研究や課外活動など様々なことに挑戦し、自分の得意なことを強化し、興味の対象を広げて欲しいと思います。

1年次の11月には「第一回就職説明会」が、続けて12月には各企業に内定した先輩の「就職活動報告会」が催されます。1年次の春休みには「就職筆記試験対策講座」「就職筆記試験対策テスト」「エントリーシート対策講座」など、より具体的な就職支援プログラムを行います。それと並行して、企業研究のための「学内企業セミナー」も開催されますので、自己分析と企業研究をさらに深めてください。

(学生課就職係)

※就職ガイダンス・講座の案内は12ページをご覧ください。

主な内定先 20 社

(人数)

企業名	内定者数
みずほフィナンシャルグループ	23
三菱東京UFJ銀行	13
伊勢丹	12
三井住友銀行	12
東京電力	9
東海旅客鉄道	9
オンワード樫山	9
千葉銀行	9
プリンスホテル	9
東日本旅客鉄道	8
NEC プロサポート	8
JTB 首都圏	7
日旅サービス	7
フランドル	6
サマンサタバサジャパンリミテッド	6
千葉トヨペット	6
横浜銀行	6
国民生活金融公庫	6
パソナユース	6
オリンパス	5
幼稚園	39
保育所	15
公務員	9

(2月14日現在)

編入学を目指す学生へ

皆さんの中には、本学で勉学する中で、「もっと勉強したい」「四年制大学卒業の資格を取得したい」等の理由で四年制大学への編入学を考えている方がいると思います。編入希望者には、「学ぶ」ことへの熱意と明確な目的意識を持って、編入学試験に合格していただきたいと教職員は思っております。

4月5日(木)に「編入学ガイダンス」があります。編入学試験に関する情報の入手方法、出願資格、編入学試験までのタイムテーブル、過去5年間の青山学院大学や他大学への推薦編入学・一般編入学状況等々の説明を資料をもとに行います。編入学希望の2年生はもちろん、1年生も出席して、編入学への心構えを強めてください。

5月30日(予定)には、「編入学したOGによる説明会」を開催します。そこでは、本学での選択科目の選択内容、受験対策としての勉強内容、編入学試験問題、編入学後の単位認定や学生生活、編入学に向けての一番大事なこと等々具体的な体験談が聞けますし、質疑応答もできます。是非、参加してください。

また、各学科主任・教務委員と教務課は、編入学についての相談をいつでも受け付けています。

(教務委員長・家政学科教授 石井 孝彦)

編入学 Q&A

—教務課に聞きました—

Q1. 青山学院大学への推薦編入について教えてください。

A 青山学院大学への推薦編入は、本学の当該学科(例: 大学文学部日本文学科への編入は短大国文学科)が内部選考を行い、選考の時期や基準も各学科が決定します。選考では成績が重視されますので、本学での勉強が重要となります。

Q2. 青山学院大学への一般編入には、どのような準備が必要ですか?

A 一般編入では筆記試験がありますので、試験科目の勉強が必要です。また、学部によっては、短大で履修すべき科目が指定されている場合もありますので、本学での勉強を怠りなく行うことが必要です。過去の入試問題が教務課にありますので、利用してください。

Q3. 他大学への編入にはどのような準備が必要ですか?

A 他大学への編入も推薦編入と一般編入があります。一般編入の場合、筆記試験と面接がある大学がほとんどですので、試験科目の勉強が必要となります。推薦編入の場合は、本学で内部選考を行うため本学での勉強が重要となります。

Q4. 本学で取得した単位はどのように認定されるのですか?

A 編入先の大学が開講する科目と、短大で取得した科目の名称・内容・単位数が同一であれば、一般的に認定される可能性が高いようです。同一科目を2科目取得すれば、4単位として認定されるケースもあります(例: 「日本史Ⅰ」2単位と「日本史Ⅱ」2単位で「日本史」4単位として認定)。

就職ガイダンス・講座 (予定)

新入生向け講演会	就職に拘らず卒業後の進路について考える	入学時
第1回就職説明会	就職活動の説明、前年度求人・内定状況の資料配付など	1年次
内定者による就職活動報告会	各企業に内定した先輩の体験談報告、個別の質疑応答	11月～
就職筆記試験対策講座	SPIなど就職試験頻出問題の解法を講義形式で解説	春休み
就職筆記試験対策テスト	自身の弱点発見・強化を促す	
エントリーシート対策講座	自己PRや志望動機などの効果的な表現方法について	
学内企業セミナー	企業の採用担当者から業界や就職活動について説明	
第2回就職説明会	採用動向や学校推薦についての説明、就職登録用紙の配付	2年次 4月
卒業生による就職相談会	OG、採用担当者が来校し、事業内容や採用方法について説明	
公務員試験ガイダンス	公務員の種別や試験について解説	

ギャラリー展覧会案内 Exhibition Guide

- 4/2 (月)～11 (水) ……2007年度 学友会クラブ紹介展
—学友会・公認クラブを紹介する作品展です—
(12日 (木)～13日 (金)は選択科目履修登録の会場となります)
- 4/16 (月)～5/11 (金)
……短大企画美術展 美術系教員作品展
— 本学の美術系教員が制作した作品を展示します—
- 5/16 (月)～26 (土) ……同窓会 第24回 さつき会展
—大先輩の卒業生の方々からさまざまな力作が展示されます—
- 5/29 (火)～6/9 (土) ……国文学科展
—国文学の分野にかかわる歴史的な書や美術品の中から紹介します—
- 6/12 (火)～22 (金) ……国連難民 (UNHCR) 写真展
—世界の難民の人々に写真で遭遇してください—
- 6/26 (火)～7/6 (金)
……18th AAA おーる あおやま あーと てん '07
—青山学院交流企画展として、幼稚園児～大学生までの作品がご覧になれます—
- 7/10 (火)～24 (火) ……芸術学科 '07展
—芸術学科の授業で制作した作品が展示されます—

事務取扱・施設利用時間のお知らせ

日曜・祝日はお休みです

教務課・学生課・庶務課 平日：9：00～16：30 土曜：9：00～12：00 ※長期休暇中の事務取扱時間は学生情報端末・掲示等でお知らせします。	①
図書館 平日：8：30～19：00 土曜：9：00～13：00 ※開館日、開館時間が変更になる期間がありますので、ホームページをご覧ください。 http://www.agulin.aoyama.ac.jp	②
情報処理実習室・マルチメディア教室 (南校舎3F・4F) 平日：9：00～18：00 (マルチメディア教室Iのみ19：00まで) 土曜：9：00～13：00	
教育メディア運用室 (南校舎3F) 平日：9：00～17：00 土曜：9：00～12：00 ※スケジュールなどは運用室前の掲示板、またはホームページをご覧ください。 https://portal.luce.aoyama.ac.jp/	
就職資料室 (研究棟2F・L206) 平日：9：00～20：00 土曜：9：00～17：00	
宗教活動センター 平日：9：00～17：00 学生相談室 平日：11：00～19：00 保健室 平日：9：00～18：00 ※開室時間に変更のある場合は、掲示でお知らせします。	③ ④ ⑤
学生食堂 平日：10：00～15：30 喫茶・売店 平日：10：00～16：30 ※定期試験中は変更となります。(サンプルケースに表示)	⑥



編集後記

春には毎年大きな節目がやってきます。子どもであった私たちはいつのまにか新しい年度が始まる度に学校の計画あるいは仕事の計画を意識するようになってきます。けれども、計画できない新しい何かを期待するときも必ずやってきます。まだはっきりとは見えてこないものへの期待も存在するのです。新しい年度の始まりとは、綿密な学校行事やカリキュラムを開始する時期であるだけではなく、むしろ見えない可能性に本当に向き合うための瞬間の訪れでもあります。大きな可能性を秘めた自分を事実として感じ捉えてみましたか。(奥村健一)

編集委員	奥井 正司	奥村 健一	志賀 智江
	田口 恵子	寺村 真佐子	山井 准子
	山田 美穂子		